最終回 三原ブランド

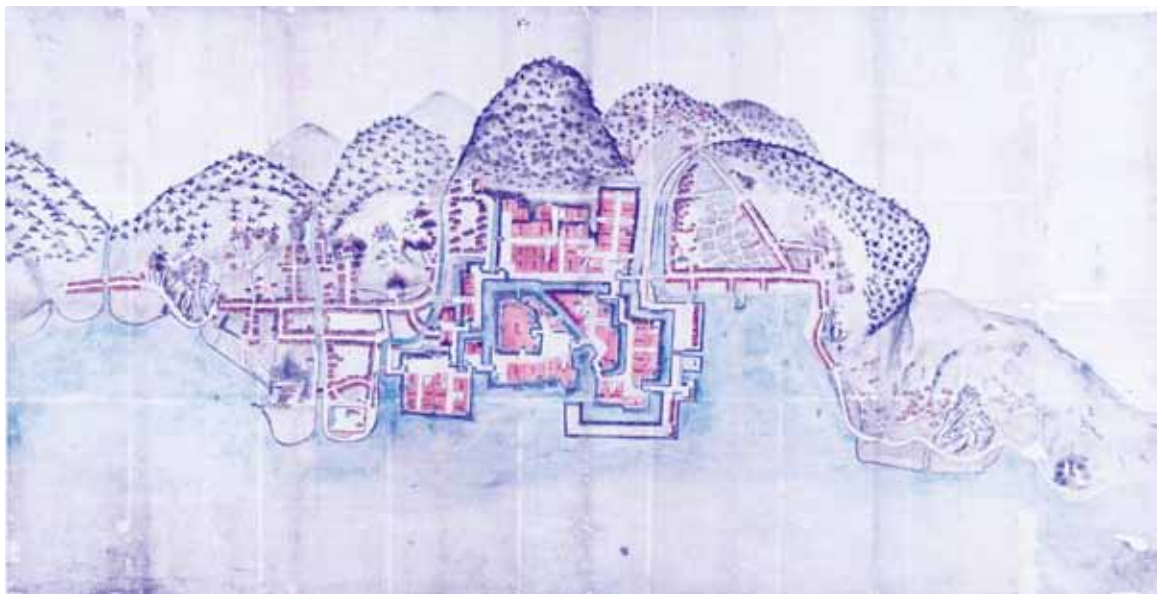
三原城城主 小早川隆景公の歴史

このお話は三原城を築城した小早川隆景公の生涯を書いています。

時は戦国時代、九州に拠点を移すことを決断した隆景は筑前名島に新城を築きます。そして、朝鮮へ出兵し明軍との戦いに勝利しますが、病を患い帰国をしました。帰国後には秀吉の甥であった秀秋を養子に迎え輝元の養女との婚姻話をすすめ、その婚礼を三原城で行ない盛大に祝います。その後、隆景は家督を秀秋に譲り隠居しますが同時期に隆景は豊臣五大老になり隆景は隠居の身でありながら有力な武将達と肩を並べ中央政治に参画しておりました。

文禄四年（一五九四年）十一月に隆景は隠居地として筑前名島から三原城へ帰り、五大老として中央政治に関わりながら、三原城を始め三原各所で大規模な工事に着手します。新たに東門（三原市館町二丁目付近）の建設や、新高山城を廃城しその石垣を使った三原城の改築、佛通寺諸堂の修築など各地で工事が行われました。その工事を行なうにあたり、生活のために戦場へ戦いにゆかざるを得ない状況にあった村人たちを雇用することで新たな働き口を提供する場にしたと言われております。

しかし、その最中の慶長二年（一五九七年）に隆景は体調を崩してしまいます。そして同年六月十二日に六十五歳でのその生涯を閉じました。最後まで毛利両川として毛利家を支えながら領国を統治する隆景は多くの人々に信頼されており、輝元や秀吉を初め多くの人がその早すぎた死を悔やんだと言われております。戦や策略が入り乱れる戦国の世に生まれ、類い稀な才能を持っていても決して自らのために野心を抱くことなく、最後まで毛利家安泰を最優先に考え生き抜いた三原城当主小早川隆景公は、その波乱に満ちた生涯に幕を閉じ安泰と言う平和を願いながら今でも米山寺（三原市沼田東町納所）に眠っています。



元禄初期　三原城下絵図　三原市立図書館　贈

あとがき

三原ブランド確立委員会
委員長　田中亮介

二〇一七年に迎える瀬戸内三原築城四五〇年という機会に向け機運が高まっている今こそ、小早川隆景公について皆様に知って頂くための一助となればと思い、この企画を続けてまいりました。まずは三原に住む皆様にわがまちをつくった武将の素晴らしさを知って頂き、郷土愛を育むことにつなげて頂きたいと思います。特に次世代を担う子供たちには隆景公の知性や人柄をよく学び「隆景公イズム」を感じることにより、明るい三原の未来を背負う人財に育って頂きたいと考えております。

私たちは未来を描くために歴史を学びます。また歴史を知ることによりこの国、この地域を愛し、自己のアイデンティティを確立しています。築城四五〇年とゆう大変貴重な機会を有効に活用し、三原に住み暮らす皆様が将来の三原への夢を描き、ますますわがまち三原を大好きになれるよう、私たちも活動を続けてまいります。引き続き皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

やっさもっさチャンネル

今月のやっさもっさ新聞の内容は三原テレビにて下記の日程（●）で放送予定です

	10/26	10/27	10/28	10/29	10/30	10/31	11/1
7:00	●	●					●
9:15			●	●	●	●	
11:15			●	●	●	●	
12:00	●	●					●
14:15			●	●	●	●	
18:15		●	●	●	●		
19:00	●					●	●
20:00	●					●	●
21:15		●	●	●	●		

MCAT

リーダーシップ啓発セミナー

～あなたはリーダーとして必要とされていますか～

11.24火　18:30～21:00《受付 18:00～》
会場：三原市ゆめきゃりあセンター
〒723-0004 三原市館町2丁目5-2
参加費無料

株式会社福寿園
取締役社長 福井 正興氏

コンテンツ
①福寿園の企業思想から学ぶリーダーシップ力(30分)
②東日本大震災で発揮された青年会議所のリーダーシップ力(30分)
③名刺交換会(70分) 参加希望の方は名刺をご持参ください。

お茶で有名な 京都 福寿園 の取締役社長で、青年会議所OBでもある、福井 正興氏をお招きし、株式会社福寿園の企業思想や体験談、まちづくり団体のリーダーシップ力について、ご講演して頂きます。

※ 参加希望の方は11月13日(金)までに事務局までお申込みください。

お問い合わせ先
一般社団法人 三原青年会議所
〒723-0052 三原市皆実4丁目8番1号 三原商工会議所内
一般社団法人三原青年会議所 事務局　宛
TEL(0848)63-3515 / FAX(0848)62-1141
お問合せ時間/平日(月～金)10:00～15:00

一般社団法人 三原青年会議所
公式ホームページはこちらをクリック↓↓↓
三原JC　検索
HPでは皆様のご意見を募集しております。